

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市山科老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施

2 事業実施内容

- （1）指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
- ・事業実施に伴うサービス提供
（入浴・機能訓練・レクリエーション・給食・送迎・相談援助業務などの提供）
 - ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所
 - ・通所介護計画に基づく個々のご利用者の生活支援を目指したサービス提供
 - ・個別機能訓練計画に基づく個別機能訓練の実施
 - ・感染症対策を継続した個人および小グループレクリエーションの実践による心身機能の維持向上及び社会的交流、生活の充実のための支援
 - ・個々のご利用者・家族に対する相談援助と関係機関との連携協働した介護と暮らしの支援
 - ・サービス向上に向けてユーザーアンケートの実施と課題改善、職員に対する内部研修や勉強会の実施。
災害対応策及びBCP、介護事故および虐待防止・ハラスメントの防止、認知症ケア、感染症予防対策、コンプライアンスや共生社会など重点化
 - ・苦情・事故などに係る改善対策の検討およびリスクマネジメントについて、ミーティング及び職員会議での検討・振り返り、研修の実施
 - ・防災計画、事業継続計画に基づく訓練実施や災害備蓄の更新等
 - ・学区社協健康すこやかサロン、子育てサークルのイベント等、地域団体の活動支援及び職員派遣
 - ・地域活性化イベント「ぐるっとふれ愛まちフェスタ」のサテライト会場（併設事業所と合同実施）
 - ・区内認知症サポーター養成講座、大学特別講演会への職員派遣

- （2）指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

- 【職員体制】
- ・管理者 1 名
 - ・生活相談員 1 名
 - ・介護職員 12 名
 - ・看護職員 2 名
 - ・機能訓練指導員 5 名
 - ・調理員 3 名
 - ・運転手 4 名
 - ・その他の職員 1 名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

- ・施設の空調調和・衛生設備、電気設備の維持管理及び点検業務
- ・施設の防犯及び警備業務（会館全体）

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会経理規程により、契約については一般競争契約と随意契約により行っています。一般競争入札の場合は市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約の場合は市内中小企業に見積り合わせを依頼するようにしています。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

（1）のべ利用者数（実績値）

- ①令和6年度実績値 人
- ②令和7年度目標値 人

（2）利用登録者数（実績値）

- ①令和6年度実績値 件
- ②令和7年度目標値 件

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）令和6年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

介護保険収入	87,023,421	人件費	71,026,877
利用料収入	5,960,175	事業費	16,369,804
委託料収入		委託費	
補助金収入	854,222	小額修繕費	
寄付金収入		その他	12,013,170
雑収入		支出計	99,409,851
その他	448,238		
収入計	94,286,056		

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

ご利用者・家族を対象としたユーザーアンケートを実施	
【内 容】	施設サービスおよび職員対応について、11項目、4段階評価、無記名式
【時 期】	令和7年1月～2月
【回収率】	55.2%

(2) 利用者満足度把握の結果

【送 迎】	満足：94%	やや満足：4%	やや不満：0%	不満：0%	無記入：2%
【入 浴】	満足：73%	やや満足：10%	やや不満：2%	不満：0%	無記入：15%
【食 事】	満足：69%	やや満足：23%	やや不満：4%	不満：0%	無記入：4%
【レクリエーション】	満足：65%	やや満足：19%	やや不満：4%	不満：2%	無記入：10%
【機能訓練】	満足：56%	やや満足：25%	やや不満：2%	不満：2%	無記入：15%
【全体満足度】	満足：69%	やや満足：17%	やや不満：4%	不満：0%	無記入：10%

(3) 意見等への主な対応状況

- ・定例会議やミーティングなどにおいて、アンケート結果を基に協議および改善に取り組みました。
- ・「レクリエーション」の賑わいや高揚感、満足感など、ご利用者の思いが表れています。感染対策に留意し、レクリエーションの企画実施に取り組みました。
- ・第五類移行にともない再開した外出レクリエーションは、次年度は更に豊富なメニューで実施します。
- ・「無記入」が一定の率を示す項目は、おひとりお一人の意思決定を大切にしたいサービスやプログラムの改善の余地を示唆しています。

7 その他特記事項

(1)

- 【地域公益事業】
 - ・「やましな認知症サポート連絡会」の発展的解消を受け、当該エリアの包括支援センター及び事業所と連携協働した認知症に係わる啓発・認知症サポーター養成講座を継続実施しました。
 - ・認知症サポーター養成講座は、京都府認知症応援大使(当事者ご本人)とご家族を講師に招聘しました。
 - ・併設老人福祉センター、区社会福祉協議会、近隣児童館、子育て支援団体と連携して、乳幼児親子向け「あそぼらんど」「クリスマス会(サンタクロース派遣)」に取り組みました。
 - ・施設ボランティアの「コーディネートと活動支援」では、新規ボランティアの受入・育成をしました。
 - ・学区社会福祉協議会や大学教育機関(京都橘大学)の活動・研修では、講師・職員派遣や地域福祉活動の支援に取り組みました。
 - ・学区の地域団体(社協・自治連、商店会他)、福祉施設・団体等と連携協働し、地域活性化イベントに取り組みました。
 - ・介護保険事業者や医療事業者との公益的連携では、京都市在宅医療・福祉連携支援センターの研修会や意見交換会に参加、また「(仮称)山科区介護サービス事業者等連絡会」の次年度発足に向けて活動に参画しました。
- 【人材育成】
 - ・伏見(醍醐)・左京・東山・山科区の法人通所介護事業所の協働による参集型の職種別会議・情報交換交流研修を企画実施しました。
 - ・施設単独では、災害対策及びBCP、感染症対策やケアの質の改善、ハラスメント防止、介護技術等に係わる研修や勉強会、またその実践に取り組みました。
 - ・人材の育成と定着促進のため、新任職員向けの施設独自マニュアルとプログラムを随時更新し、研修に取り組みました。
- 【コンプライアンスと職場づくり】
 - ・高齢者虐待防止の推進のため法人・施設で基本指針及び虐待防止マニュアルに沿った研修や勉強会に取り組みました。
 - ・防災対策計画(自然災害・火災・感染症)及びBCPの更新にともない災害や感染症への対応力向上のため研修・訓練に取り組みました。
 - ・道路交通法に基づく安全運転管理者の選任・配置、アルコールチェックを更新しました。
 - ・労働安全衛生法に基づく衛生推進者及び衛生推進担当者の選任・配置を更新しました。
 - ・介護施設における安全対策担当者養成研修(生活相談員対象)を修了しました。
 - ・法令遵守及び適正な労務管理のため管理職員の労務管理研修(施設長対象)を修了しました。

(2)

- ・ひきこもりや生活困窮者の社会生活自立支援及び就労自立支援事業に協力のため「チャレンジ就労体験事業」の受入れ事業所として登録を継続しました。
- ・高齢者福祉の理解促進及び人材育成・確保のため「介護等体験事業」「看護実習」「就労体験事業」の受入やボランティア体験、施設・事業見学の受入をしました。

8 評価(指定管理者自己評価)

- ・指針やエビデンス等に基づき施設の感染症対策の継続と緩和に取り組みました。
- ・業務改善・サービス向上、事故再発の防止、不適切ケアの防止、ハラスメント防止、災害時対策など職員会議やミーティング、研修勉強会での学習活動や実地訓練よりその理解と行動形成を進めました。
- ・併せて、共生社会の実現を目指す社協理念の理解、求められる職員像と倫理観、社会的な差別や排除の解消など、学習活動よりその理解と人間形成、総じて人材育成を進めました。
- ・ユーザーアンケートの他に、居宅介護事業者・地域包括支援センターと随時の情報交換、訪問や連絡時にご利用者・ご家族のニーズの聴き取りや暮らしの把握に努め、サービスの改善や提案などの取組みを推進しました。